Panasonic®

取扱説明書

ステレオラジオ
カセットレコーダー

品番　RQ-SX70F

このたびは、ステレオラジオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書付　　上手に使って上手に節約

すぐに使いたい人は・・・・

テープを聞く

14ページ

ラジオを聞く

22ページ

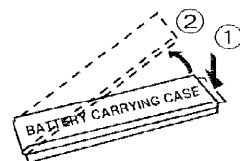
録音する

30ページ

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571　大阪府門真市松生町1番4号　☎(06)909-1021

もくじ

付属品

- ステレオインサイドホン
- リモコン
- 乾電池ケース（マンガン乾電池入り）
- 充電器
- 充電式ニカド電池（ケースから取り出して使用）

- DC-IN アダプター
- ワンポイントステレオマイク
- マイクスタンド
- キャリングケース

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

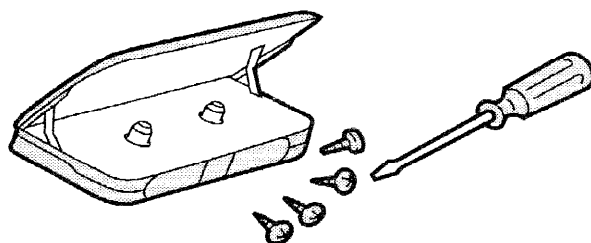
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

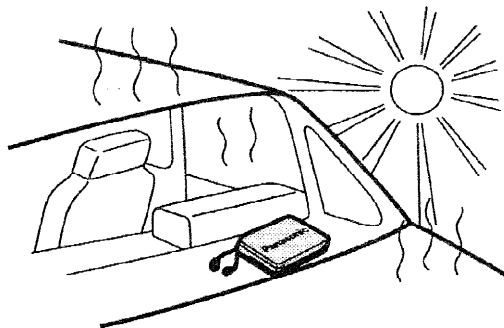
本機について

分解・改造しない

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

自動車やバイク、自転車などの運転中は、使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

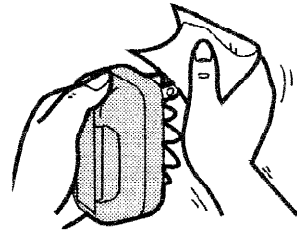
安全上のご注意

充電器について

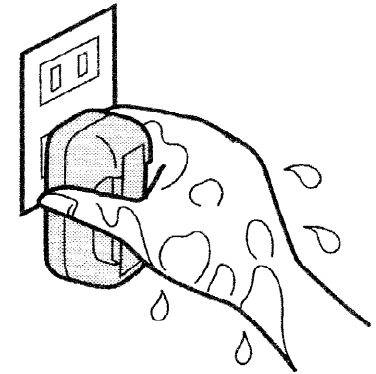
⚠警告

充電は、交流（AC）100Vを使う

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。
- プラグは、完全に差し込んでください。

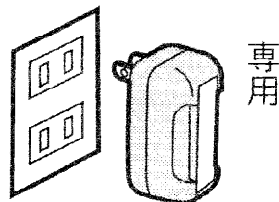
プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。ほこり等をとった後は、乾いた布でふいてください。

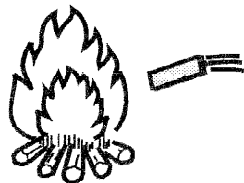
⚠注意

濡れた手で充電器を抜き差ししない

- 感電する恐れがあります。
- 充電後は、安全のため充電器をコンセントから抜いておいてください。

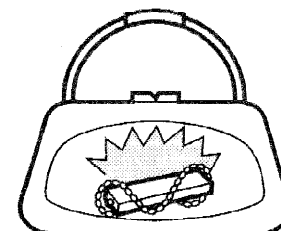
充電式電池について

専用の充電器で充電する

専用

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

⊕と⊖をショートさせない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属のケースに入れてください。
- チューブをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

安全上のご注意

乾電池について

⚠注意

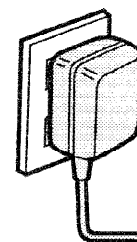
以下のことを守り正しく取り扱う

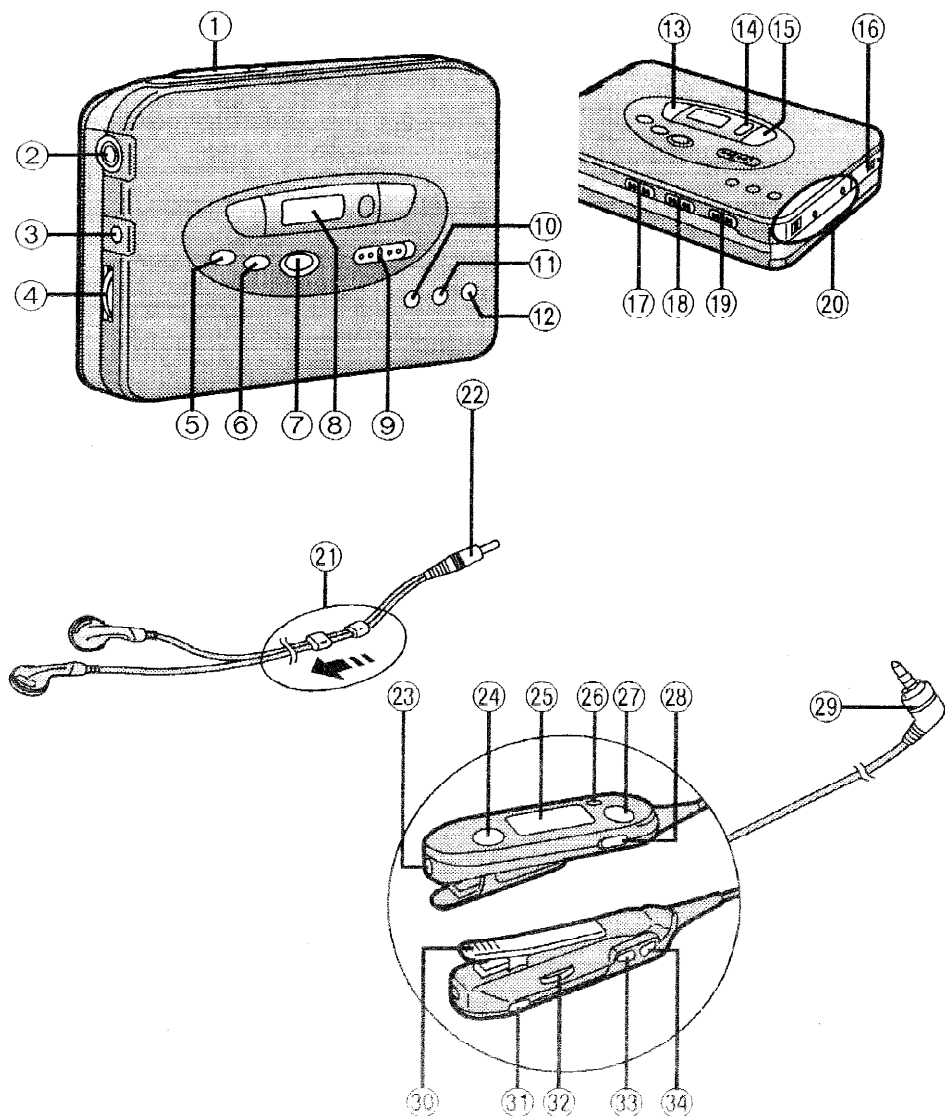
- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
  乾電池入りの乾電池ケースも同様です。

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ACアダプター（別売り）について

⚠警告

ACアダプターは指定のもの（RP-AC11A）を、交流（AC）100Vで使う

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。
- プラグは完全に差し込んでください。
- 長期間使用しないときは、安全のためコンセントから抜いておいてください。

各部のなまえ

⓫などの数字は参照ページを示しています。

①OPEN（ふた開）つまみ

②🎧（ヘッドホン）端子

③MIC端子

④VOL（音量）つまみ

⑤REW、－（巻戻し、戻る）ボタン

⑥F　F、＋（早送り、進む）ボタン

⑦OFF、■（ラジオ「切」、停止）ボタン

⑧本体表示パネル

⑨HOLD（本体ホールド）つまみ⓫

⑩MODE（選局モード切換）ボタン⓴、㉒

⑪AUTO（自動設定）ボタン⓴

⑫MEMORYボタン㉕～㉗

⑬TAPE、◀▶（再生、方向切換）ボタン

⑭REC/REC PAUSE（録音／録音一時停止）ボタン

⑮RADIO/BAND（ラジオ「入」、バンド切換）ボタン

⑯充電式電池ふた

⑰B. S.（ブランクスキップ）／リバースモードつまみ ⓰

⑱ DD N R（ドルビーB）つまみ ⓰
再生時にのみ働きます。

⑲ビートプルーフ／ステレオモードつまみ ㉔、㉜

⑳乾電池ケース兼DC-INアダプター接続端子

㉑スライダー**（使わないときは、コードのからみ防止のため移動させてください。）**

㉒プラグ

㉓インサイドホン端子

㉔TAPE(テープ操作）ボタン

㉕リモコン表示パネル

㉖•LIGHT、▬REC/REC PAUSE（照明、録音／録音一時停止）ボタン

㉗RADIO/BAND（ラジオ操作）ボタン

㉘HOLD（リモコンホールド）つまみ ⓫

㉙プラグ

㉚クリップ

㉛E Q（1曲リピート、表示切換、音質切換）ボタン ⓲、㉑、㉝

㉜VOLUME（音量）つまみ

㉝REW、－（巻戻し、戻る）ボタン

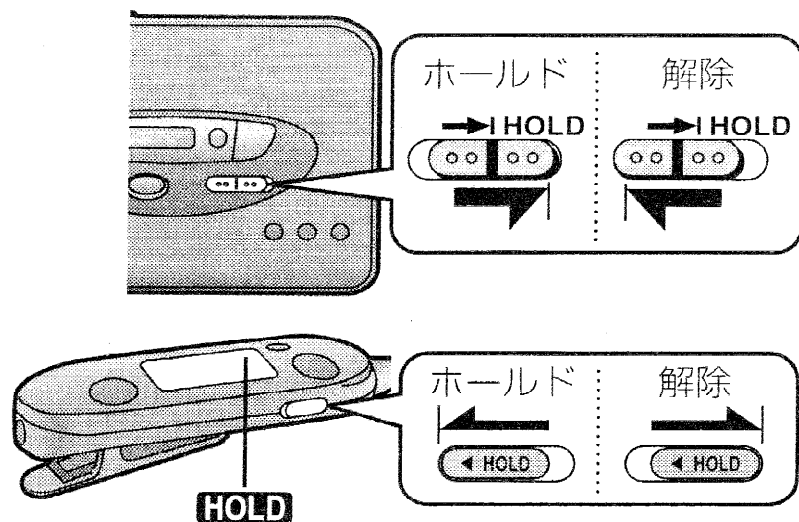
㉞F F、＋（早送り、進む）ボタン

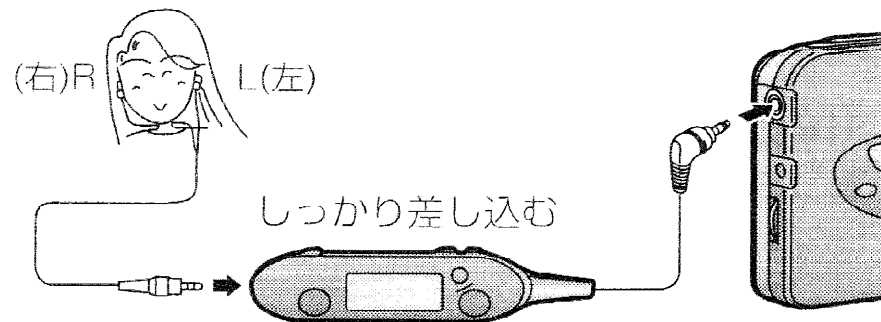
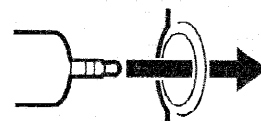
リモコンのボタンを押すと
“ピ”という操作受付音の後、操作説明中のふき出しのような動作を確認する音が鳴ります。

ホールド機能について

誤ってボタンを押してもボタン操作を受け付けないようにする機能です。

次のことを防ぎます。

- 知らない間に電源が入る。（電池が消耗する）
- 使用中に再生や録音が中断する。

- 本体とリモコンは別々にホールドになります。

リモコン、インサイドホンの接続

注 **プラグはグッ！と奥まで**

差し込みがゆるいと音が鳴ってもリモコン操作ができません。

【光るリモコン】

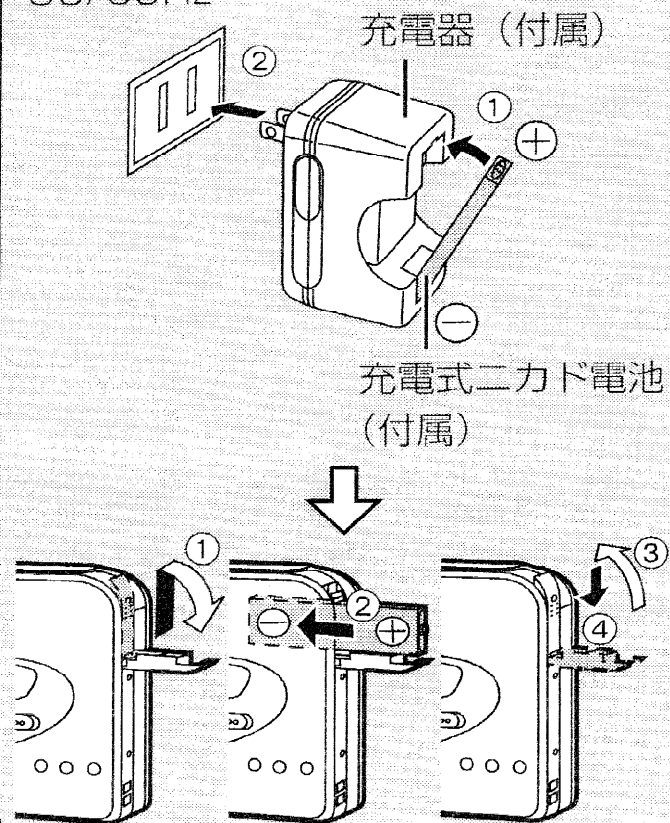
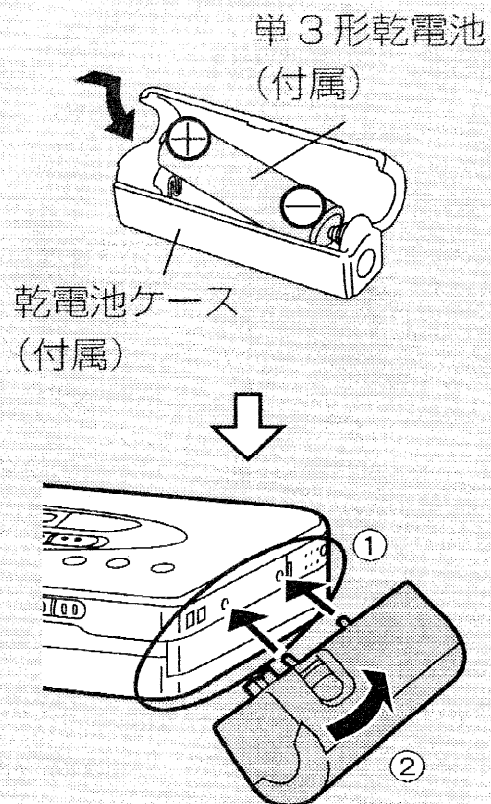
本体やリモコン操作時に、約５秒間リモコンの表示パネルが明るくなり、暗いところで見るのに便利です。

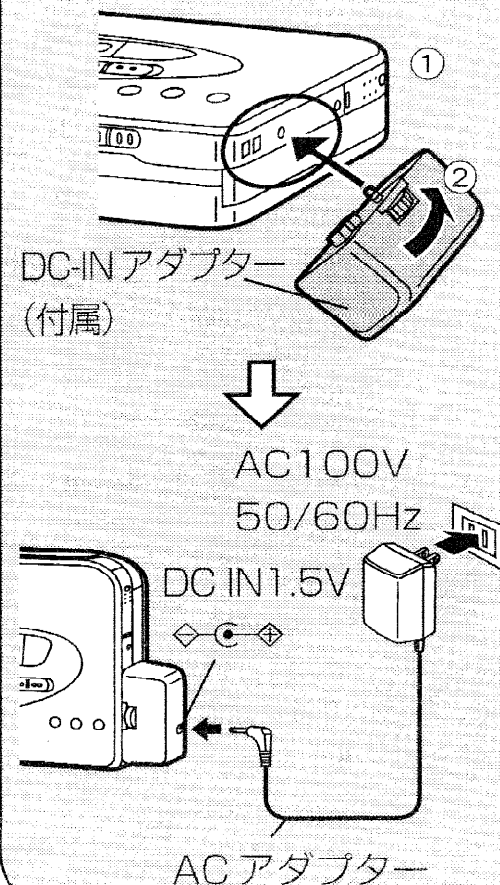
操作せずに表示だけ確認するには

LIGHT ボタンを押すと約５秒間明るくなります。（ホールド中でも働きます。）

- 明るくなったとき、雑音が発生することがあります。

電源の準備

充電式電池で使う

乾電池で使う

ACアダプターで使う

必ず専用品（RP-AC11A、別売り）をご使用ください。

充電時間と充電式電池の寿命

■充電時間と再生・受信・録音時間

フル充電（約２時間）のとき

テープ再生時間	ラジオ受信時間	マイク録音時間	ラジオ録音時間
約９時間	約１０時間	約５時間	約４時間

使用条件によって、再生・受信・録音時間が短くなることがあります。

■充電式電池の充電可能回数は

約300回が目安です。

充電しても持続時間が短くなった場合は、寿命です。

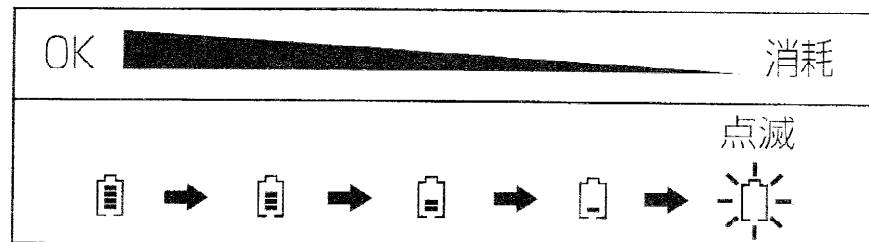
■買い替えは

充電式ニカド電池（品番：RP-BP61）

長期間ACアダプターで使用しないときは

節電のため本体の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には放送局の再設定が必要です。本機を使用していなくても、ACアダプターが約2.2Wの電力を消費しています。

電池残量を確認するには

リモコンの表示パネルで確認できます。
（動作中は常に表示）

点滅後、電池が切れるまでの時間（めやす）

充電式電池時…約５分、乾電池／併用時…約30分

- 極端に低温の場所での使用や、早送り・巻戻し中、録音動作中は一時的に低く表示されることがあります。

■電池が消耗したら

充電するか、乾電池を交換してください。

長時間再生のために

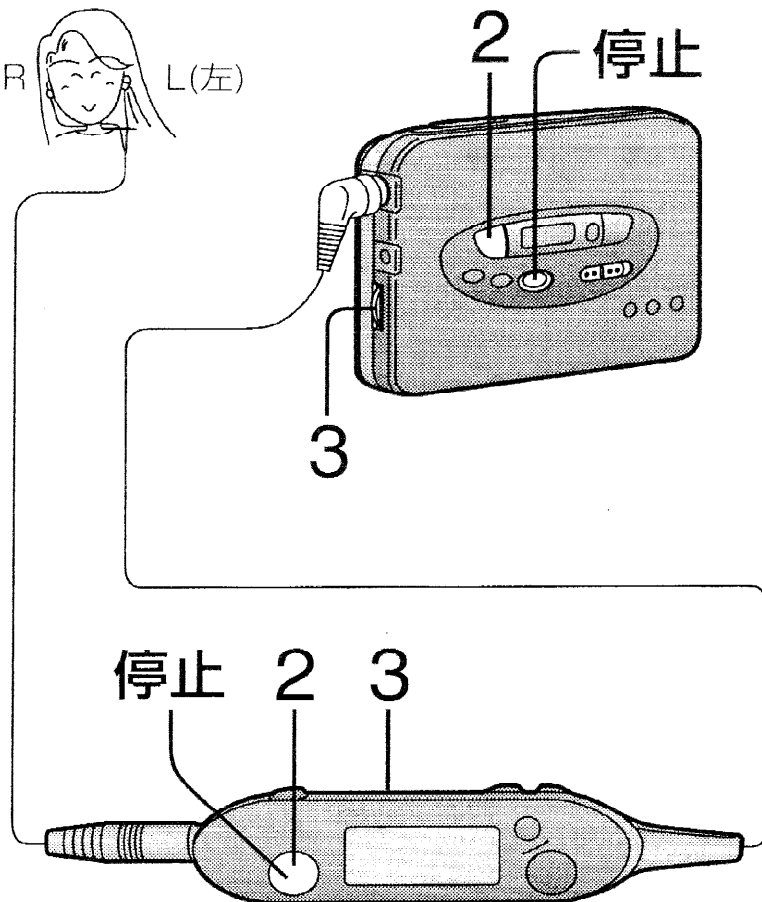
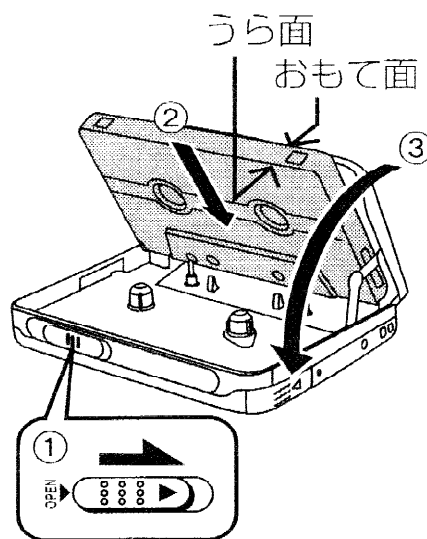
- 充電式電池と乾電池を同時にご使用ください。
- 乾電池は寿命の長いパナソニックアルカリ《白》をおすすめします。

テープを聞く

はじめに

ホールド状態を解除。（11 ページ）

本体で

リモコンで

1 テープを入れる

ふたの開閉後はテープのたるみが巻き取られ、おもて面から再生。

パネル表示

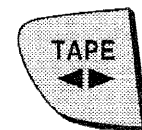
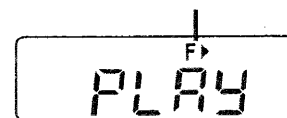
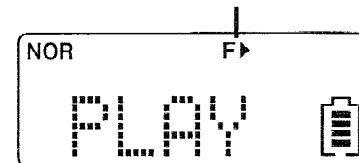
F▶ ：おもて面

◀R ：うら面

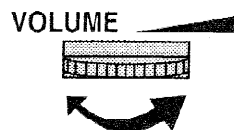
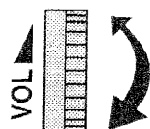
2 再生

ポンと押す

再生面表示

F▶ PLAY

ポンと押す

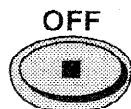
ピピピ…と鳴ったらテープが入っていません。

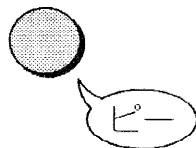
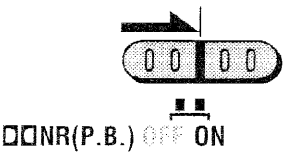
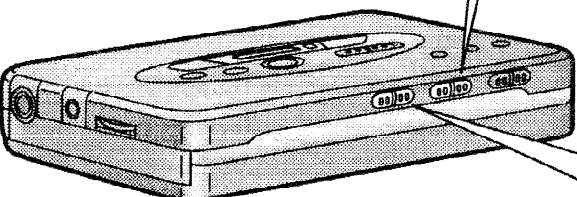
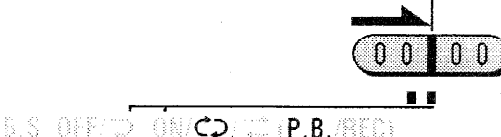
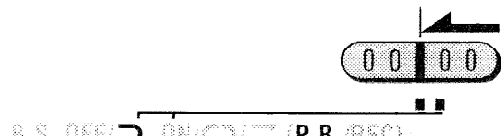
3 音量

VOLUME

本体のVOLUME位置：
5-7程度

使用後　停止

ポンと押す

OFF

ポンと押す

TAPE

正しく再生できるテープ

ノーマルポジション NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
ハイポジション HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	○
メタルポジション METAL POSITION/TYPE Ⅳ	○

テープの種類は自動的に判別します。

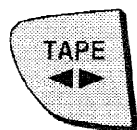
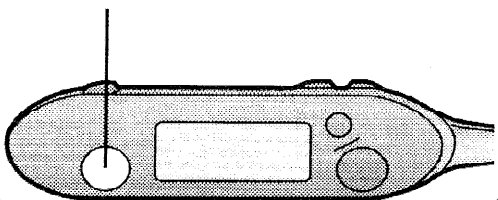
ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 DD はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。

いろいろなテープ操作 ⑰などの数字は参照ページを示しています。

*1ドルビーNRとは

「サー」というテープ特有のノイズを減らす機能です。

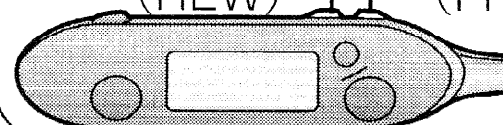
ドルビーB NRで録音されたテープを本機で再生するとノイズを約1/3にして聞くことができます。

・ドルビーNRとだけ記載されている場合はドルビーBタイプです。

本体で

リモコンで

反対面を聞く

再生中にポンと押す

TAPE ◀▶

再生中にピ、ピと鳴るまで押す

*2【ブランクスキップ】(B.S.)

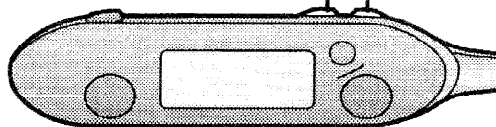
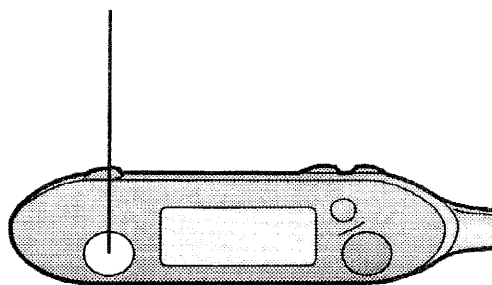
再生中に約13秒以上の無音部があるとピと鳴って早送りし、反対面の始めから再生します。

- **テープの終端近くから再生を始める場合**
  働かないことがあります。
- **小さい音が約13秒以上続く（クラシック音楽など）場合**
  早送りされることがあります。
  OFF/⊐位置にしてお使いください。

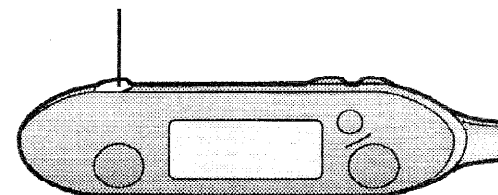
リモコン操作のみ

イントロで曲を探す【イントロスキャン＊3】

全曲の始めの部分（イントロ）を約10秒ずつ聞けます。

停止中にピ、ピーと鳴るまで押す

聞きたい曲が見つかったらポンと押す

再生が始まります。

今の曲を繰り返す【1曲リピート】

再生中にピ、ピーと鳴るまで押す

解除するには

もう一度ピ、ピと鳴るまで押す。

- 停止、頭出し、方向切換操作でも解除されます。

＊3 頭出しやイントロスキャンはテープ終端で反転して動作を続けますが、終端を3回検出すると自動停止します。

頭出し、イントロスキャン、1曲リピート時のお知らせ

これらは曲間の約3秒間の無音部を検出する機能です。そのため曲間が短い場合や曲間に雑音がある場合、曲中に無音に近い部分がある場合は、正しく動作しないことがあります。

ラジオをお使いになる前に

本機のラジオは３つの使いかたができます。

使いかた	選局モード	設定方法（自動設定）	
エリアバンク*に記憶された放送局を聞く	エリアモード	放送局を自動設定します。（20～21ページ）	「ラジオを聞く」（22ページ）
自分で記憶させた放送局を聞く	メモリーモード	放送局を自動設定します。（20～21ページ）	「ラジオを聞く」（22ページ）
記憶させずに周波数を選んで聞く	フリーモード	設定は不要です。	「ラジオを聞く」（22ページ）

海外で使うとき

「海外で受信するには」27ページ

---

*【エリアバンク】
本機は国内の放送局を地域（エリア）ごとにまとめて記憶しています。

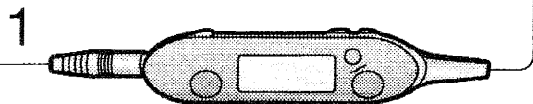
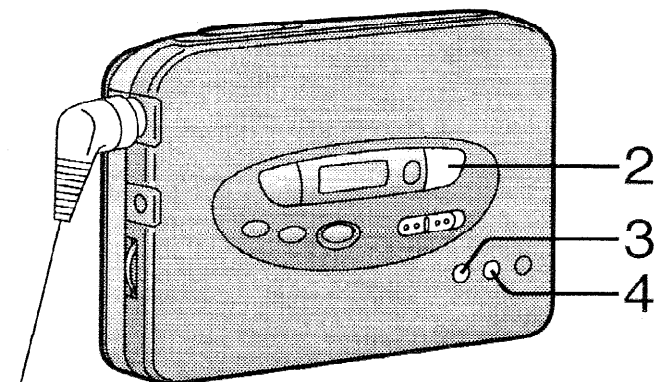
例えば
- 東京に住んでいるなら…エリア11（東京）
- 札幌に旅行したときは…エリア1（札幌）

このように、エリアを変えることでその地域の放送局の中から簡単に選べます。

放送局を自動設定する

2 種類の設定方法があります。

オートエリアバンク（エリアモード）
本機が現在地を判断して、最適なエリアに自動設定します。

オートメモリー（メモリーモード）
現在地で聞ける放送局だけをメモリーモードに自動で記憶します。(各バンド最大９局)

窓ぎわなど、受信しやすい場所で行ってください。

はじめに

ホールド状態を解除。（11 ページ）

1 **リモコン、インサイドホンをつなぐ。**
自動設定の際、アンテナとして働きますので、コードを束ねず、伸ばしてください。

2 **「RADIO/BAND」を押し、電源を入れる。**

3 **「MODE」を押し、選局モードを選ぶ。**
押すたびに
AREA（エリアモード）→ MEMO（メモリーモード）→ 表示なし

4 **「AUTO」をピピピと鳴るまで押す。**

エリアモードのとき

“AUTO” を表示し、自動設定開始。
設定が終わるとピピと鳴り、本体表示パネルにはエリア番号、リモコンにはエリア名が約 5 秒間表示されます。

メモリーモードのとき

AM → FM → TV の放送局を周波数の低い順に記憶し、設定が終わるとピーと鳴ります。

■“ Error ” と表示されたら

エリアモードのとき

自動設定できませんでした。オートメモリーするか、手動でエリアを選んでください（25 ページ）。

メモリーモードのとき

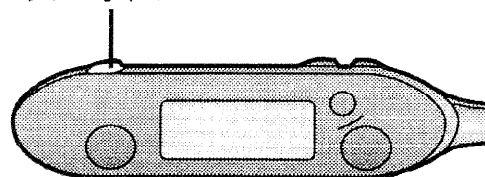
受信状態が悪く 1 局も記憶できませんでした。1 局ずつ記憶させてください。（「好みの放送局を手動で記憶させる」26 ページ）

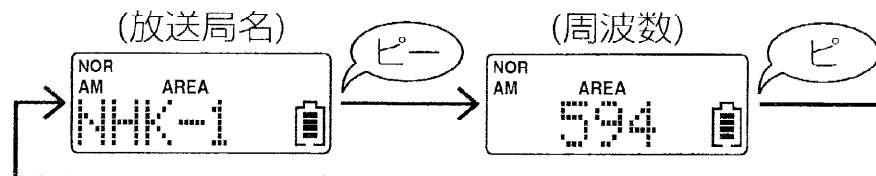
リモコンの放送局名表示について

エリアモードのときのみ

表示パネルに放送局名が表示され、選局時に便利です。

周波数を表示させたいとき

1 秒以上押す

例：東京圏（エリア番号 11）で

1 秒以上押すたびに

また、エリア変更時には、エリア名が表示されます。

ラジオを聞く

AM、TV はモノラルです。

はじめに

ホールド状態を解除。（11 ページ）

(右)R L(左)

5 4 電源切 1·3 2

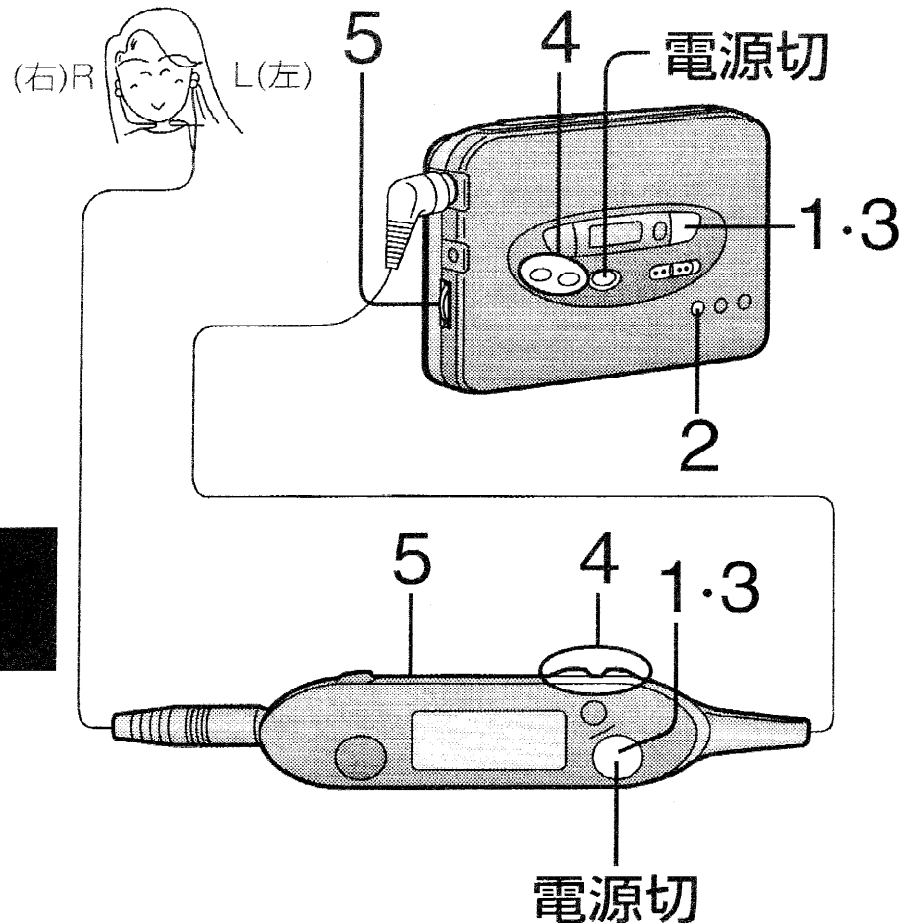
5 4 1·3 電源切

本体で

リモコンで

1 電源

本体で: ポンと押す RADIO /BAND

リモコンで: ポンと押す RADIO/ BAND

2 選局モード

（19 ページ）

本体操作のみ

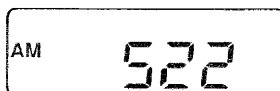
ポンと押す

MODE

押すたびに

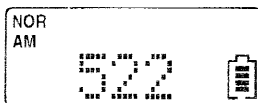
3 バンド

ポンと押す

AM 522

押すたびに

AM→FM→TV

1秒以上押す

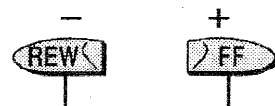
RADIO/
BAND

1秒以上押すたびに

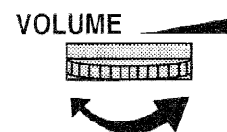
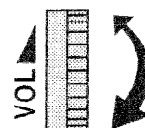
AM→FM→TV

4 選局

ポンポンと押す

AREA、MEMO表示中はメモリー番号が、表示なしのときは周波数が上下します。

ポンポンと押す

周波数が上下します。AREA表示中は放送局名で確認することもできます（21ページ）。

5 音量

本体のVOLUME位置：5-7程度

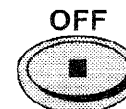
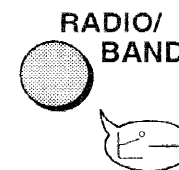
使用後 電源を切る

ポンと押す

OFF

ポンと押す

RADIO/
BAND

ピー

ラジオを聞く

自動で選局する

選局モードがフリーモードのときの簡単な選局方法です。

1 22ページの手順に従い、手順2でフリーモードを選ぶ。

2 「+」または「−」をピ、ピピピと鳴るまで押し、手を離す。

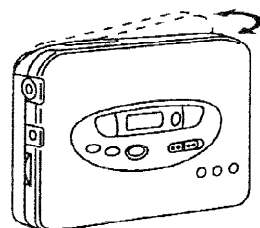
放送局を受信して自動停止します。

●途中で止めるには

もう一度「+」または「−」を押します。

アンテナの調整

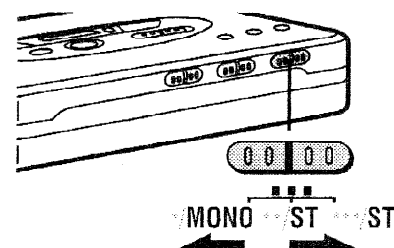
AM放送

本体の向きを調整する。
（内蔵のフェライトアンテナが働きます）

FM、TV放送

インサイドホンコードを束ねずに、できるだけ伸ばす。
（インサイドホンコードがアンテナとして働きます）

FM放送のステレオ／モノラル切換

（ステレオモード切換）

本体操作のみ

●ステレオで受信中に雑音が多いとき

モノラル音声にすると雑音が減って聞きやすくなります。

●乗物や建物の中では

電波が弱まり聞こえにくいことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

●本機のTV受信回路について

FM受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルに、FMが混信することがあります。

ラジオの機能を使いこなす

受信状態が悪く自動設定できないときや、使いかたに合わせて細かい設定をするとき使います。

「RADIO/BAND」を押し、電源「入」の後、本体ボタンで操作してください。

手動でエリアを選ぶ

1 「MODE」を押し、"AREA"を表示させる。
2 「AUTO」をポンと押す。
　エリア番号が点滅。
3 表示が点滅中に、「＋」、「－」を押し、現在地のエリア番号を選ぶ。（「エリア番号一覧表」、28ページ参照）
　リモコンパネルに表示されるエリア名でも確認できます。
　しばらくするとピピピと鳴り設定されます。

エリアバンクに放送局を追加する

新しい放送局が開局されたとき便利です。各バンドに1局ずつ追加でき、どのエリアからでも呼び出せます。

1 「MODE」を押し、"AREA"を表示させる。
2 「RADIO/BAND」を押し、バンドを選ぶ。
3 「MEMORY」をピと鳴るまで押す。
　周波数が点滅。
4 表示点滅中に「＋」、「－」を押し、選局する。
5 表示点滅中に「MEMORY」を押す。
　ピピと鳴りメモリー番号Aとして追加。

追加した放送局を受信するには

1 「MODE」を押し、"AREA"を表示させる。
2 「＋」、「－」を押し、メモリー番号Aを選ぶ。

● 追加した放送局は局名表示が出ません。

ラジオの機能を使いこなす

好みの放送局を手動で記憶させる

(AM/FM/TV 各 9 局まで)

1 「MODE」を押し、“MEMO”を表示させる。

2 「RADIO/BAND」を押し、バンドを選ぶ。

3 「MEMORY」をピと鳴るまで押す。
周波数が点滅。

4 表示点滅中に「+」、「−」を押し、選局する。

5 表示点滅中に「MEMORY」を押す。
“M” とメモリー番号が点滅。

6 表示点滅中に「+」、「−」を押し、メモリー番号を選ぶ。

7 表示点滅中に「MEMORY」を押す。
ピピと鳴り記憶されます。

他の放送局を記憶させるには

手順 2-7 を繰り返す。

記憶した放送局を聞くには

選局モードを “MEMO” にして選局する。

使わないメモリー番号を消す

使わない放送局を消しておくと、選局時にとび越されます。

1 「MODE」を押し、“AREA” または “MEMO” を表示させる。

2 消したい放送局を選局する。

3「MEMORY」をピと鳴るまで押す。
周波数が点滅。
4「+」と「−」を押す。(片方を押したまま、さらにもう一方を押す)
"----"が点滅。
5 表示点滅中に「MEMORY」を押す。
ピピピと鳴ります。

■消したメモリーを再び使うには

再び記憶させる。
(20, 25〜26ページ)

海外で受信するには

ラジオ「入」の後、次の操作でステップを切り換えます。

1「MODE」を5秒以上押す。
"J"などのステップを表示。
2 ステップ表示中に「+」、「−」を押し、地域に合わせてステップを選ぶ。

地域	ステップ(表示)
日本国内	国内専用 (J)
東南アジア、ヨーロッパ	9kHz (AM E 9)
北米、中南米、東南アジアの一部	10kHz (AM U 10)

3 ステップ表示中に「MEMORY」を5秒以上押す。
ピピピと鳴ります。

- ステップを切り換えるとメモリーモードに記憶した放送局は消えます。

海外ステップ(E:Europe, U:U.S.A)のとき‥‥

- TV受信ができません。
- 受信周波数帯域が変わります。
- 選局モードはメモリー、フリーモードのみとなります。("AREA"は表示しません)

エリア番号一覧表

エリア番号	地域名
1	札幌
2	青森
3	秋田
4	盛岡
5	山形
6	仙台
7	福島
8	宇都宮
9	水戸
10	前橋
11	東京圏 (東京、横浜、千葉、浦和)
12	甲府
13	松本
14	静岡
15	名古屋圏 (名古屋、岐阜)
16	津
17	新潟
18	富山
19	金沢
20	福井
21	大津
22	奈良
23	和歌山
24	大阪圏 (大阪、神戸、京都)
25	鳥取
26	松江
27	広島
28	山口
29	岡山　高松
30	徳島
31	松山
32	高知
33	福岡
34	北九州
35	佐賀
36	長崎
37	大分
38	熊本
39	宮崎
40	鹿児島
41	那覇
42	JR新幹線

JR新幹線の車内FM放送サービスは、主に次の新幹線の新型車両内で実施されています。

- 東海道、山陽(ひかり、のぞみ)
- 東北、上越(MAX)
- 山形(つばさ)

新幹線によって放送を実施している周波数が異なるため、受信できないメモリー番号があります。

録音の前に

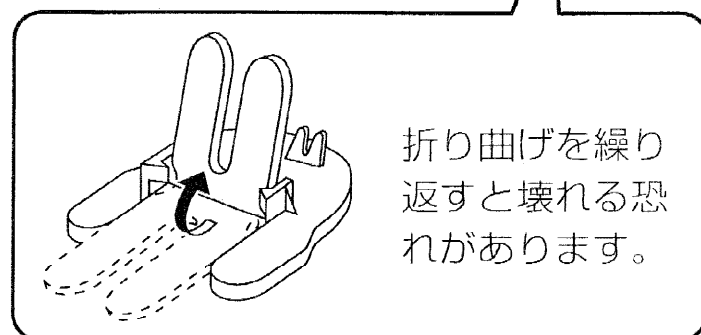
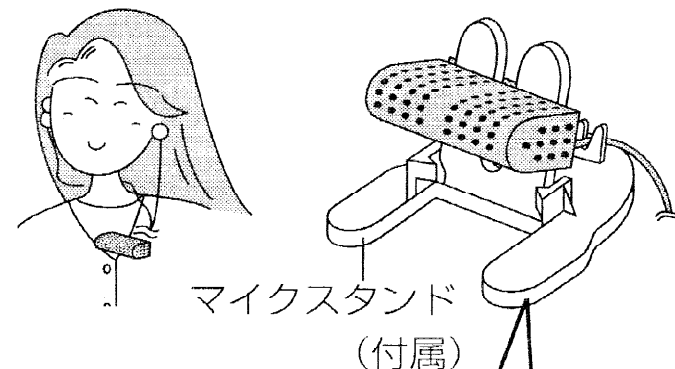
■正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマルポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ（ハイポジション）	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ（メタルポジション）	×

本機でハイポジション、メタルポジションテープを使っても、正しく録音・消去はできません。

■ワンポイントステレオマイク（付属）について

- 録音中に抜き差ししないでください。
  雑音が録音されたり、音量が下がることがあります。
- ステレオインサイドホンを近づけすぎないでください。
  ハウリング（ピーという音）が起こります。
  このようなときは、マイクから離すか、音量つまみを調整してください。

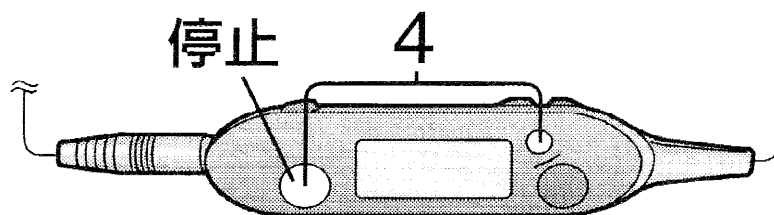
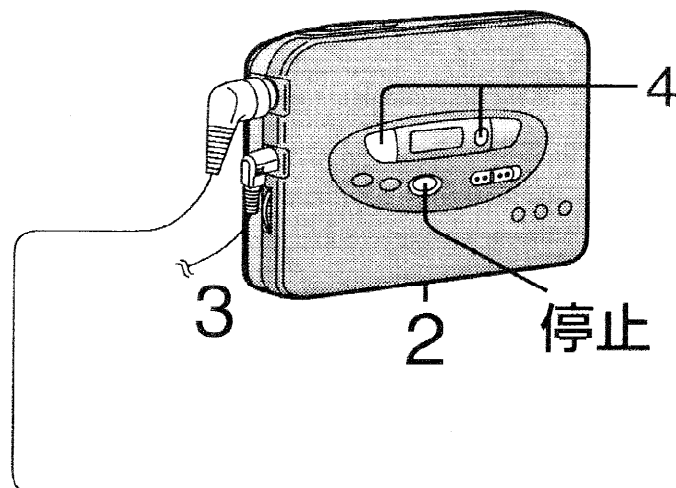
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■誤動作防止のため、録音中は作動しないボタン

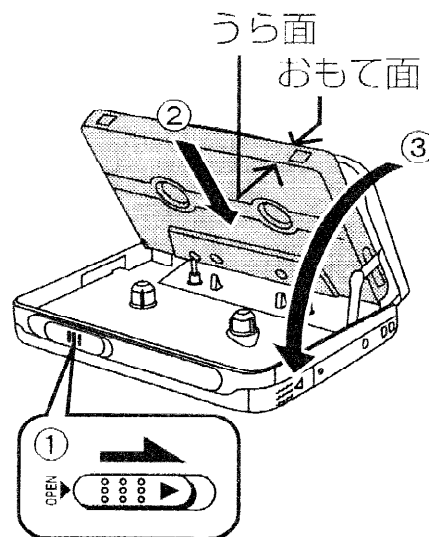
「TAPE」（本体のみ）、「MODE」、「AUTO」、「MEMORY」、「REW」、「FF」、「RADIO/BAND」

録音する

ワンポイントステレオマイクで録音

はじめに

ホールド状態を解除。（11 ページ）

本体操作のみ

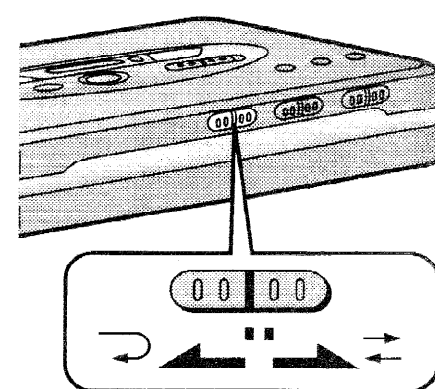
1 テープを入れる

ふたの開閉後はテープのたるみが巻き取られ、おもて面から録音。

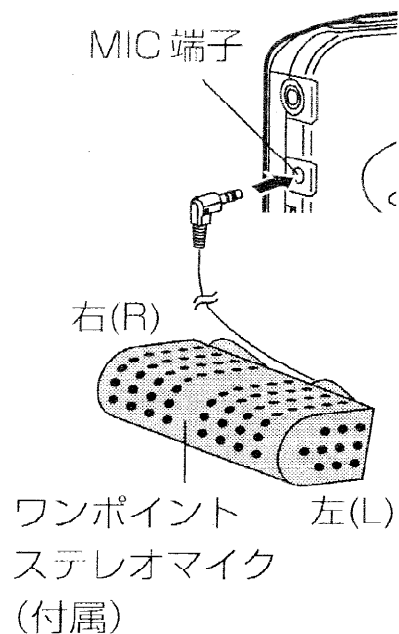
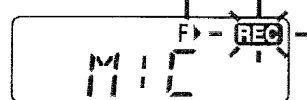
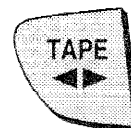
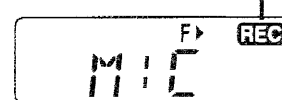
- テープに誤消去防止つめがあるか確認！（34ページ）

パネル表示

F▶ ：おもて面

◀R ：うら面

2 リバースモードを選ぶ

⮌ ：おもて面→うら面録音後停止

⇄ ：片面を録音後停止

3 マイクをつなぐ

4 録音

本体で

押しながら　　　ポンと押す

DD 機能は働きません。

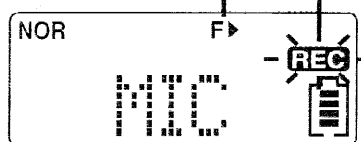
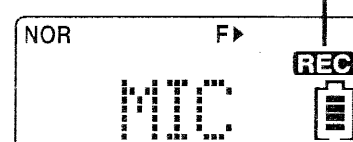
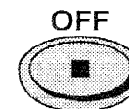
リモコンで

押しながら　　　ポンと押す

録音面表示　点滅　点灯

使用後 停止

ポンと押す

OFF

電源も切れます。

ポンと押す

電源も切れます。

いろいろな録音操作

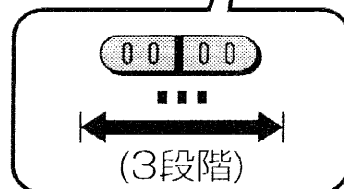
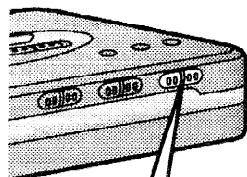
ラジオ放送の録音

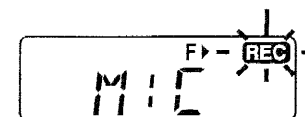
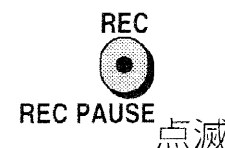
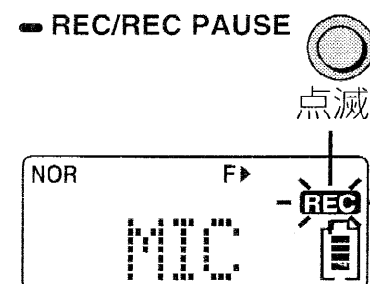
1　選局する。（22～23ページ、手順1～5）
2　30～31ページの手順1～2、4を行う。

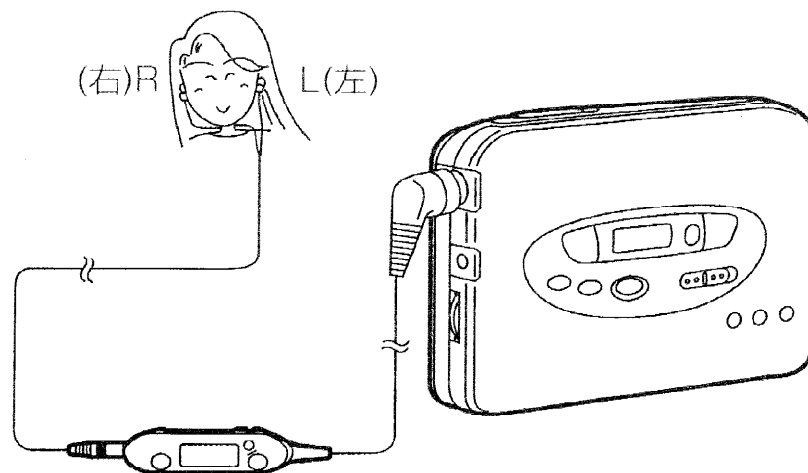
■録音を停止するには
「OFF」（本体）または「TAPE」（リモコン）を押す。
⇩
■電源を切るには
（ラジオの）「電源を切る」23ページ

AM録音時の雑音（ピーという音）が多いとき
（ビートプルーフ）

雑音が少なくなる位置に切り換える。

本体で

リモコンで

録音を一時停止する

■録音を再び始めるには
もう一度上記の動作を繰り返す。

録音中の音を聞く（モニター）

ステレオインサイドホンで聞く

音量つまみで音量を調節できます。
（録音には影響ありません）

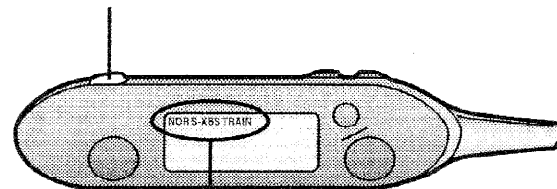
録音した音を消すには

1 MIC端子には何も接続しない。
2 録音状態にする。（30～31ページ、手順1～2、4）

音質を変えて楽しむ

リモコン操作のみ

ホールド状態解除（11ページ）のあと

ポンと押す

音質表示

NOR（解除）‥ふつうの音質で聞く
↓
S-XBS・・・・・・・迫力ある重低音で聞く
- 音がひずむときは音量を下げてください。

↓
TRAIN・・・・・・・**【電車ポジション】**
耳にやさしい音で音もれを抑える

録音中は、録音されるテープには影響しません。

使用上のお願い

本機について

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多い所で使わないでください。
- 雨に濡らさないでください。

機器の故障の原因となります。

ステレオインサイドホンについて

- 周囲の人への迷惑にならない適度な音量でお楽しみください。
- 本体にコードを巻き付けるときは、たるみを持たせてゆるく巻いてください。

使用テープについて

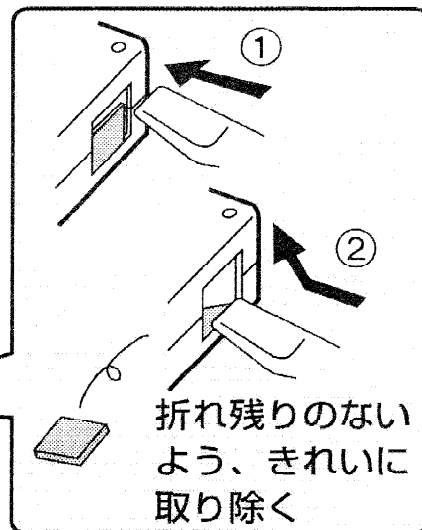
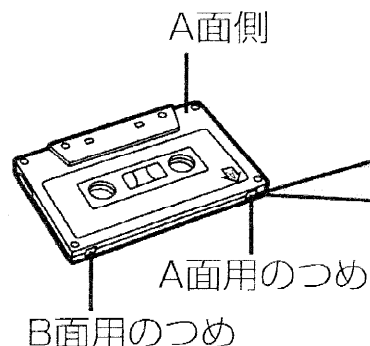
■100分を超えるテープ

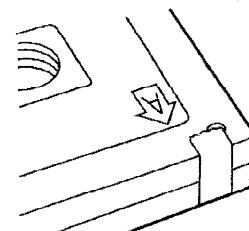
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。(回転部分に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部分に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明書をお読みください。

■録音したテープを誤って消さないために(誤消去防止つめ)

ドライバーなどでつめを折り取ってください。

もう一度録音するには：

セロハンテープなどを貼ってください。

お手入れ

充電式電池と充電器について

- 充電中は熱を持ちますが、異常ではありません。
- 12時間以上充電しないでください。（寿命が短くなります）
- 使用中のラジオの近くで充電しないでください。（放送に雑音が入ることがあります）
- 使いきってから充電してください。（電池の持続時間を十分に活かせます）

充電式ニカド電池について

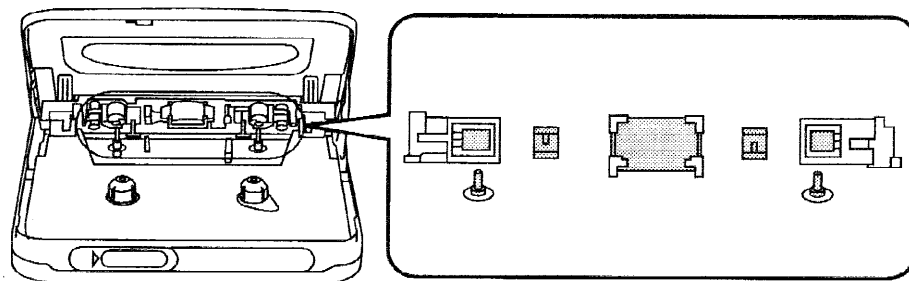
使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで（下記マークのある）リサイクル協力店へお持ちください。

本体が汚れたら

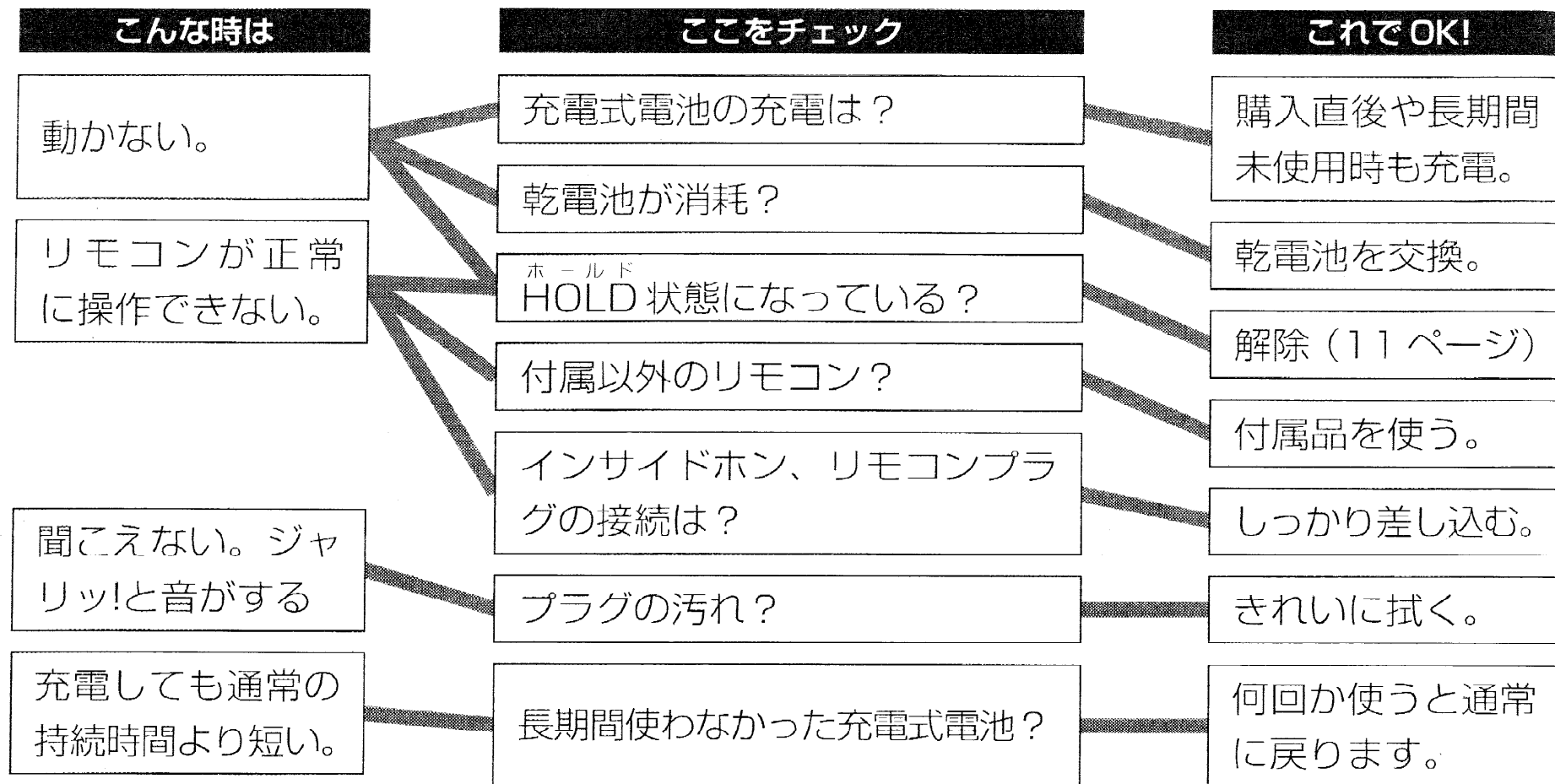
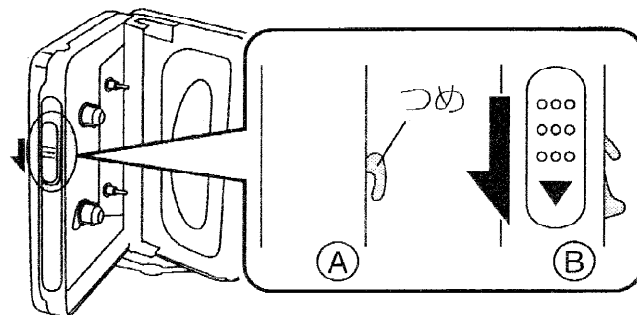
柔らかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その使用説明書をご覧ください。

よい音でお楽しみいただくために

ヘッドなど、テープが触れる部分（下図の　）をときどき拭くことをおすすめします。
推奨品：クリーニングキット(RP-919、別売り)

故障かな!? (アレ!?と思ったらまず確認を!!)

まず、この表でご確認のうえ、直らないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな時は	ここをチェック	これでOK!
動かない。	充電式電池の充電は？	購入直後や長期間未使用時も充電。
動かない。	乾電池が消耗？	乾電池を交換。
動かない。／リモコンが正常に操作できない。	HOLD（ホールド）状態になっている？	解除（11ページ）
リモコンが正常に操作できない。	付属以外のリモコン？	付属品を使う。
リモコンが正常に操作できない。	インサイドホン、リモコンプラグの接続は？	しっかり差し込む。
聞こえない。ジャリッ!と音がする	プラグの汚れ？	きれいに拭く。
充電しても通常の持続時間より短い。	長期間使わなかった充電式電池？	何回か使うと通常に戻ります。

こんな時は	ここをチェック	これでOK!
リモコン表示が出ない。	電池を入れた直後なら、少し後に表示が出たら正常です。	
リモコン表示が消える。	電池残量が少ないとき、巻戻しなどを行うと消えることがあります。	故障ではありません。
受信できない。	モードの選択は正しい？	モードを確認。(22ページ)
受信できない。／TV が聞けない。	周波数ステップが、海外向け？	ステップの切換。(27ページ)
ふたが閉じない。	つめの状態が下図のⒶ？	「OPEN」をずらしⒷの状態に。

保証とアフターサービス　よくお読みください。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品でお困りの場合は

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間－お買い上げ日から１年間です

■修理を依頼されるとき

36、37ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。43ページの「サービス伝言カード」をご利用になると便利です。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

注）性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様ご相談センター

0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）年中無休／受付９時〜20時

International Customer Care Center
海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO AKIHABARA	☎ (03)3256-5444	秋葉原 1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo
OSAKA NIPPOMBASHI	☎ (06)645-8787	日本橋 4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka

修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎ (0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西19条南1丁目7-11
函館	☎ (0138)53-7107	函館市山の手1丁目1-15

東北地区

青森	☎ (0177)39-9712	青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田	☎ (0188)26-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎ (0196)39-5120	盛岡市羽場13地割30-3
宮城	☎ (022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎ (0236)41-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎ (0243)34-1309	福島県安達郡本宮町字南ノ内65

修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	電話	住所
栃木	☎ (028)632-8450	宇都宮市中央1丁目8-13
群馬	☎ (0273)52-1217	高崎市萩原町沖中205-18
両毛	☎ (0276)25-6870	太田市東新町244-1
水戸	☎ (029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎ (0298)55-7860	つくば市梅園2丁目1-13
埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎ (043)251-3537	千葉市稲毛区園生町369-1
船橋	☎ (0473)34-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎ (0471)63-8905	柏市北柏1丁目7-6
東京	☎ (03)5477-9780	東京都世田谷区経堂5丁目26-8
山梨	☎ (0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎ (025)286-0171	新潟市東明1丁目8-14
佐渡	☎ (0259)23-2898	両津市秋津字境108-1
長岡	☎ (0258)28-2111	長岡市寺島町308-12
上越	☎ (0255)44-6871	上越市大字藤野新田字大割353-3

中部地区

地域	電話	住所
石川	☎ (0762)94-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎ (0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎ (0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎ (0263)58-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎ (054)287-9000	静岡市西島765
愛知	☎ (052)614-3136	名古屋市南区西又兵衛町3-48
岐阜	☎ (058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎ (0592)55-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

地域	電話	住所
滋賀	☎ (0775)82-5021	守山市勝部町260
京都	☎ (075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎ (06)359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎ (07435)9-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎ (0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎ (078)272-6645	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6

修理ご相談窓口

中国地区

地域	電話	住所
鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎ (0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎ (086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎ (0839)89-4445	山口市大字佐山1120-1

四国地区

地域	電話	住所
香川	☎ (0878)74-6200	香川県綾歌郡国分寺町新名663-1
徳島	☎ (0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎ (0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎ (089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

地域	電話	住所
福岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎ (0958)30-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎ (0975)56-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎ (0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎ (0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目7-36
大島	☎ (0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-15

沖縄地区

地域	電話	住所
沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0696

主な仕様

受信周波数：

ステップ	AM	FM	TV
国内専用	522-1629kHz	76.0-90.0MHz	1-12ch
9kHz	522-1629kHz	87.5-108.0MHz	—
10kHz	520-1710kHz	87.5-108.0MHz	—

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：直流消去
モニター方式：バリアブルサウンドモニター方式
周波数範囲（EIAJ）
　再生：40-18000Hz（ノーマル／ハイ／メタルポジション）
　録音：70-10000Hz（ノーマルポジション）
出力端子：ヘッドホン；30Ω（M3ジャック）
入力端子：マイク：0.56mV（600Ω）
　（M3ジャック、プラグインパワータイプ）
実用最大出力：4mW＋4mW（EIAJ）
電源
　充電式電池：DC 1.2V（専用充電式電池）
　乾電池：DC 1.5V（単3形乾電池×1個）
　外部電源：DC 1.5V
　（別売りACアダプターRP-AC11A使用）
寸法
　最大外形寸法：110.2（W）×81.0（H）×22.6（D）㎜（EIAJ）
　本体寸法：108.8（W）×79.2（H）×21.3（D）㎜
質量：約172g（充電式電池含む）

充電器：入力：AC 100V 50/60Hz
　出力：DC 1.2V 350mA
電池持続時間（EIAJ）：（出力1mW時）

使用電池	テープ再生	ラジオ受信	マイク録音	ラジオ録音
充電式電池*	約9時間	約10時間	約5時間	約4時間
ナショナルネオ《黒》乾電池（R6PU）	約12時間	約12時間	約5時間	約3時間
充電式電池*とナショナルネオ《黒》乾電池（R6PU）併用	約21時間	約22時間	約10時間	約7時間
パナソニックアルカリ乾電池（LR6）	約28時間	約29時間	約15時間	約9時間
充電式電池*とパナソニックアルカリ乾電池（LR6）併用	約36時間	約38時間	約20時間	約13時間

*付属充電式電池フル充電時
- 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

停止時の消費電力約2.2W（ACのとき）

別売り品のご紹介

■もっと大きくよい音で聞きたいとき

ステレオミニスピーカーを本体の 🎧 端子に接続します。

●RP-SP25

●RP-SP30/RP-SP50/RP-SP70（アンプ内蔵）
　音を増幅させることができます。本機の音量：5-7 程度

■インサイドホン（ジョイントホン）の買い替えは

●RP-HJ530（レギュラーサイズ）

●RP-HJ335（新ぴったりホン）

●RP-HJ333（スモールサイズ）

■オープンエアー型ヘッドホンで聞きたいとき

リモコンのインサイドホン端子に接続します。

●RP-HZ29（ジョイント式リモコン専用）

■本機の音をステレオ機器で録音したいとき

フォーンツウピンコードＳ（RP-CA59A）で本体の 🎧 端子とステレオ機器を接続します。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	RQ-SX70F
販売店名	☎（　　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－		

（切り取ってご使用ください。）

<サービス伝言カード>

修理をご依頼になるときに、必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店にお持ちください。

（ふりがな） お名前			
ご住所 ご連絡先	（　　　）		
商品名	ステレオラジオカセットレコーダー		
品　番	RQ-SX70F		
ご購入日		ご依頼日	

…故障または異常の内容…

（このような状態で…していた時、こんな故障になった）

※私の希望修理代金は＿＿＿＿円迄です。

Operating Instructions

As to the numbers such as ⑲, refer to the illustration on page 9.

Stereo Radio Cassette Recorder

RQ-SX70F

Concerning to the hold function

(See page 11.)

This function prevents the unit from operating even if one of the buttons is pressed in error.
To use the hold function, set the HOLD switch to the hold position (hold state).
Before operation, be sure to release the hold state on either the main unit or the remote controller with which you operate.

Connecting the stereo earphones and the remote controller

(See page 11.)

Power Sources

(See pages 12-13.)

Tape Operation

■Listening to tapes

(See pages 14-15.)

■To play the tape with Dolby NR

Set the DD NR selector to ON.

*Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. "DOLBY" and the double-D symbol DD are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

■Selecting the reverse mode, blank skip function

ON/⊂⊃

Both sides of the cassette are played continuously.
Blank skip function works.
(Blank skip)
When a silent part of more than 13 seconds is detected during play, the tape will fast forward to play the opposite side.

OFF/⊃

For play of the forward and then the reverse side.
Blank skip doesn't work.

■To change the side to play

From the main unit, press ◀▶ during playback.
From the remote controller, press TAPE for more than 1 second.

■Fast forward and rewind

Press FF (fast forward) or REW (rewind) in the stop mode.

■Finding the beginning of the tune

You can skip as many songs as the number of times (up to 9) the button is pressed.
Press FF or REW during playback.

■Scanning all tunes by their intro (Intro-scan)

(from the remote controller only)
Allows you to listen to the beginning portion (intro) of the songs for about 10 seconds each, in order.
Press FF or REW for more than 1 second in the stop mode.
To resume play, press TAPE.

■Repeating a song (One-repeat)

(from the remote controller only)
Press EQ during playback for more than 1 second.
To release the one-repeat function, press EQ for more than 1 second once more.

Radio Operation

■Area bank function

This unit is equipped with an area bank function, allowing you to easily listen to previously stored stations in any of the 41 regions and JR (those JR Shinkansen lines equipped with on-board FM broadcasts).

Auto area bank function automatically selects the area number according the region where you are.

1. Plug the stereo earphones and the remote controller. (They work as an antenna.)
2. Press RADIO/BAND.
3. Press MODE to display "AREA".
4. Press AUTO for more than 1 second.

■Auto memory function

Broadcast frequencies are automatically stored in the memory.

1. Plug the stereo earphones and the remote controller. (They work as an antenna.)
2. Press RADIO/BAND.
3. Press MODE to display "MEMO".
4. Press AUTO for more than 1 second.

Changing the display mode of the remote controller (AREA mode only)

Press EQ for more than 1 second.

Remote controller display shows the name of the station and the frequency alternately.

■Listening to the radio

(See pages 22-23.)

When selecting a broadcast frequency manually, display neither "AREA" nor "MEMO" in step 2 of page 22.

Auto tuning

(except for "Area bank function", "Auto memory function")

Press and hold + or – until the displayed frequency begins to change. The changing will automatically stop if a broadcast station frequency is located.

Selecting the stereo/monaural of the FM

Set the stereo mode selector (⑲) to MONO or ST.

■Selecting the area number manually

1. Press RADIO/BAND.
2. Press MODE to display "AREA".
3. Press AUTO once.
4. Press + or – to select the area number.

■Additional presetting into the AREA mode

You can add a frequency in the AREA mode's memory in each of the band. This is convenient for storing newly opened broadcast station.

1. Press RADIO/BAND.
2. Press MODE to display "AREA".
3. Press RADIO/BAND to select the band.
4. Press MEMORY for more than 1 second.
5. Press + or – to select the broadcast frequency.
6. Press MEMORY. The frequency is stored as the memory number A.

■Presetting the station manually

1. Press RADIO/BAND.
2. Press MODE to display "MEMO".
3. Press RADIO/BAND to select the band.
4. Press MEMORY for more than 1 second.
5. Press + or – to select the broadcast frequency.
6. Press MEMORY.
7. Press + or – to select the memory number to store the frequency.
8. Press MEMORY.

■Erasing the unnecessary channel from the memory

1. Press RADIO/BAND.
2. Press MODE to display "AREA" or "MEMO".
3. Press + or – to select the memory number to remove.
4. Press MEMORY for more than 1 second.
5. Press both + and – to display "_ _ _ _".
6. Press MEMORY.

■When using overseas

When using abroad, select the allocation settings according the area.

1. Press RADIO/BAND.
2. Press MODE for more than 5 seconds.
3. Press + or – to select the allocation setting.
   •J for Japan
   •E, AM 9 9kHz step, for Europe, etc.
   •U, AM 10 10kHz step, for U.S.A, etc.
4. Press MEMORY for more than 5 seconds.

Recording

■Recording from the stereo microphones

(See pages 30-31.)

■Recording from the radio

1. Receive the desired broadcast station.
   (See the steps 1-5 of pages 22-23.)
2. Open the cassette compartment and insert the cassette.
3. Set the reverse mode selector (⑰) to desired setting.
   : For recording on the forward and then the rewind side.
   : For recording on only one side.
4. Press TAPE while pressing REC/REC PAUSE.

To stop the recording, press OFF of the main unit or TAPE of the remote controller.

To turn off the radio, press OFF of the main unit or RADIO/BAND of the remote controller.

Beat proof function

When an AM broadcast is recorded, the beat proof selector (⑲) can be used to reduce unwanted "beat" signals (whistle) which are sometimes present.

Set the selector to whichever position best reduces these "beat" signals.

■To temporarily stop the recording

From the main unit, press REC/REC PAUSE during recording.

From the remote controller, press REC/REC PAUSE for more than 1 second.

To resume the recording, do the same as above.

■Monitoring

The sound being recorded can be monitored through the stereo earphones.

The volume adjustment can be done using the volume control.

Changing the Tone

(from the remote controller only)

Press EQ during playback or radio reception.

NOR : Normal sound.

S-XBS : This will boost the low frequency range.

TRAIN : This will lessen the leaking noisy high sound disturbing the people around you in the train.

Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571 ☎ (06)909-1021

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
   （ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   （イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   （ロ）お買い上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧などによる故障及び損傷
   （ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   （ヘ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くの修理相談窓口は39-41ページの一覧表をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にお問合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RQ-SX70F
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 ヵ年
※お買[illegible]	年　　　日
※お客様	[illegible] 様 話　　）　－
※販売店	住所・氏名 電話（　　　）　－

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部

〒571　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

RQT3596-1S　F0496E2126 (D)